

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連	◎	乗用車販売店（営業担当）	・決算期に入ることもあり、客の動きが良くなるため、来年3月までは景気は良くなる。
	◎	自動車備品販売店（経営者）	・ある程度新型コロナウイルスの終息にめどが立ち、景気も元に戻ってくる。
(中国)	○	商店街（理事）	・新型コロナウイルスの影響が薄れているため、景気は良くなる。
	○	一般小売店〔靴〕（経営者）	・年末年始に消費意欲が回復してきており、今後、景気はやや良くなる。
	○	スーパー（販売担当）	・客が密を避ける傾向にあり、買物も中心地から郊外への流れが日ごと強くなっていくのを顕著に感じている。新型コロナウイルスの影響が拡大するほど郊外型の店の客が増加する。
	○	スーパー（営業システム担当）	・今後も外食の自粛等が続くため、食品や日用品の売上は伸びる。また、高単価なものが売れる傾向にあるので、今後も景気は良くなる。
	○	家電量販店（販売担当）	・年が明けると景気は良くなる。
	○	乗用車販売店（統括）	・新型コロナウイルスの影響で厳しい状況だった前年よりは景気は良くなる。
	○	乗用車販売店（店長）	・新型コロナウイルスが落ち着けば、サービスを中心に来客数が増加する。
	○	住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが落ち着いてくれば、景気は良くなる。
	□	商店街（代表者）	・客との会話からも買い控えの様子が感じられ、景気が回復するような雰囲気を感じられないため、景気は良くならない。
	□	一般小売店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの状況次第だが、当分の間、状況は改善しない。
	□	一般小売店〔印章〕（経営者）	・家計のなかで旅行や遊興費が少なくなる分、生活費に余裕ができる。
	□	百貨店（営業担当）	・現状から改善する点が見当たらないため、景気は変わらない。
	□	百貨店（営業企画担当）	・新型コロナウイルスの状況次第だが、今後もセレモニーやイベントの縮小、中止などが続き、売上が減少する。
	□	スーパー（店長）	・買物客に占める高齢者の割合が高いため、新型コロナウイルスの影響が続く間は、客が大型商業施設でなく、近くのスーパーで買物を済ませる傾向が続く。このため、今後も来客数は増加しないが、売上は増加する。
	□	スーパー（店長）	・現状から判断すると、よほど良い施策がない限り、景気は良くならない。
	□	スーパー（店長）	・来客数の減少傾向が続くため、売上は増加しない。
	□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス禍で自粛ムードになると、スーパーでは若干、来客数や販売量が増加する。このため、このまま新型コロナウイルスの影響が続くと現在の状況が続く。
	□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの状況次第だが、内食需要は堅調に推移する。
	□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスが終息するまで状況は変わらない。
	□	スーパー（業務開発担当）	・新型コロナウイルス禍で内食が増えているため、好調な状態が続く。
□	スーパー（販売担当）	・全国では新型コロナウイルスの感染者数が増加しているが、自分の周辺の地域では新型コロナウイルスの影響を余り受けていないので、今後も景気は変わらない。	
□	コンビニ（エリア担当）	・来客数の伸びが見込みにくいため、景気は良くならない。	
□	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスが落ち着かないと景気は変わらない。	
□	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が当面続くため、景気は変わらない。	
□	衣料品専門店（代表）	・外国人の入国を厳しくしない限り、新型コロナウイルスの感染者数は減少せず、景気は良くならない。	
□	乗用車販売店（営業担当）	・営業時間短縮が要請されて以降、新規の客が減少しており、今後も続く。	

□	乗用車販売店（営業担当）	・初売りフェアを準備しているが、今の状況で客が来店するのかが不明で、今後も景気は良くならない。
□	その他専門店〔時計〕（経営者）	・歳末でも厳しい状況であり、年明けには売上が減少する。
□	その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・3か月先も日用品や食料品、ステイホーム需要が顕著な反面、アパレルや飲食関連の苦戦は続く。新型コロナウイルスの状況次第では、更なる景気の悪化もある。
□	一般レストラン（経営者）	・店舗の新型コロナウイルス対策はできるだけして、告知もするが、ワクチンの実効性が認知されるまでは厳しい状況が続く。
□	一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスが終息する気配がない以上、景気が回復する要素が全くない。また、客の傾向として自粛する際は反応が早いですが、回復の際は非常に緩やかになっており、景気が元に戻るにはまだ時間が掛かる。
□	スナック（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスが終息しない。Go To TravelキャンペーンやGo To Eatキャンペーンの対象から外れているため、厳しい状況が続く。
□	観光型ホテル（営業担当）	・Go To Travelキャンペーンが一時停止するため、年始は休館を考えているが、キャンペーンの延長に期待したい。
□	都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルス禍で人の動きが止まっているため、消費活動が停止している。年末年始の集客も期待できず、しばらく先行きが不透明な状況が続く。
□	都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルスの動向により景気が左右されるが、現状では景気は変わらない。
□	旅行代理店（経営者）	・早くワクチンができ、安心して旅行ができる状況になるまで耐えるしかない。
□	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
□	通信会社（企画担当）	・3か月後も新型コロナウイルスの状況は大幅に改善しておらず、ワクチンが広く使われるのもまだ先である。生活自体の苦しさから抜け出せない限り、身の回りの消費の変化は期待できない。年度末の卒業、入学等の時期になっても、消費抑制のライフスタイルは変わらない。
□	通信会社（経理担当）	・現在の状況では先がみえず、景気は良くならない。
□	観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの感染状況により大きく左右されるため予想しにくいですが、現状のままでは景気回復の見込みは立たない。
□	観光名所（館長）	・新型コロナウイルスの終息にめどが立たない限り、景気は上向きにはならない。
□	ゴルフ場（営業担当）	・現在の予約は、1～2月が悪く、3月は例年と変わらない状況で、天候や新型コロナウイルスの広がり方次第では、伸びる可能性もある。
□	競艇場（企画営業担当）	・今後も電話投票の売上が見込まれるため、変わらない。
□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響でかなりの打撃を受け、年配の客が戻らなくなっているため、今後も景気は良くならない。
□	設計事務所（経営者）	・2～3か月先ではまだ民間からの仕事が出てくることは期待できない。
□	設計事務所（経営者）	・12月に入り、新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策が実施され、期間も1月17日まで延長されている状況下で住まいに関する動きはしばらく見込めない。
□	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続き、経済活動が足踏みしているため、景気は変わらない。
▲	商店街（代表者）	・今年は新型コロナウイルスの影響で厳しい状況だったが、何か打開策がない限り、景気は良くならない。
▲	一般小売店〔茶〕（経営者）	・年末から年始まで、今まで体験したことのない静かな正月になりそうで、今後、景気はやや悪くなる。
▲	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・年始は例年、人出が少ないが、新型コロナウイルスの影響で来年は更に人出が少なくなる。
▲	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が拡大し続けているので、効果的な対策がなければ状況はより悪くなっていく。
▲	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響がかなり出始めており、このまま感染者数が増加していくと店が開店していても来客数が減少していく。

▲	百貨店（売場担当）	・悪いニュースばかりで今後も景気が良くなることはない。シーズンのにも冬～春の端境期なので購買意欲は低下する。
▲	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響やGo To Travelキャンペーンの一時停止で、年明けから景気が悪くなる。
▲	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの影響で、外販活動の規制強化や消費者マインドの低下が見込まれるため、今以上に厳しい状況になる。
▲	スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの影響で人の動きがどんどん悪くなり、店の売上に響いてくる。
▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で客の収入が減少し、年明け以降、客の節約により売上が減少する。
▲	コンビニ（支店長）	・新型コロナウイルスに関する報道や冬のボーナス減少で今後、景気はやや悪くなる。
▲	コンビニ（副地域ブロック長）	・新型コロナウイルスが終息せず、県外からの客もGo To Travelキャンペーンの一時停止で期待できないため、しばらく厳しい状況が続く。
▲	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスが終息せず、厳しい状況が続く。
▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気はやや悪くなる。
▲	家電量販店（店長）	・来客数が増加しないため、景気はやや悪くなる。
▲	家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、政府が何か手を打たないと景気の悪化が続く。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響が少しずつ出てきているため、商談の時間が短くなり、成約に結び付かない。
▲	乗用車販売店（店長）	・年末のにぎわいは全くない。年度末を迎えるが、自粛ムードのままでは見通しは暗い。中古車のネット販売だけはこの状況でも好結果を出せるのが唯一の救いであるが、厳しい状況は続く。
▲	その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は良くならない。
▲	その他専門店〔土産物〕（経営者）	・地元の小さな市でも感染者が出てしまい、会食や旅行ができないため、ますます悪くなる。
▲	高級レストラン（事業戦略担当）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止がいつまで続くか予測が難しい。再開したとしても、開始当初のような動きは戻らないため、景気は悪くなる。
▲	一般レストラン（経営者）	・1～3月は例年であれば、新年会、送別会、歓迎会、卒業、進学など祝い事が多く、多くの売上を上げることができるが、新型コロナウイルスの影響が続く現状では、期待ができない。
▲	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・閑散期に入ることや新型コロナウイルスの影響で景気はやや悪くなる。
▲	都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスが落ち着けば、一旦は持ち直すであろうが、再び感染拡大が進む可能性も高く、暖くなるまでは客が外出を控える傾向がしばらく続く。
▲	旅行代理店（支店長）	・現状施策があっても活用できる状況にならない限り好転は見込めない。
▲	タクシー運転手	・人の動きが良くなったり、観光客数が増加したりすることがないため、景気はやや悪くなる。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが終息しないため、景気は上向かない。
▲	放送通信サービス（総務経理担当）	・特別定額給付金等の家計への施策がないなかで、新型コロナウイルスの拡大が続いていけば、短期間で家計にダメージを与え、急激に景気が下降する可能性がある。
▲	通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルス禍で買い控えが続くため、景気はやや悪くなる。
▲	テーマパーク（営業担当）	・冬の閑散期に入ること、しばらくは新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないことから、景気はやや悪くなる。
▲	テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響で景気はやや悪くなる。
▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが終息するまで景気の見通しが立たない。
▲	設計事務所（経営者）	・来場の動きが鈍い状況が長引きそうで、今後も厳しい状況が続く。

	▲	住宅販売会社（営業所長）	・新型コロナウイルス感染拡大に対する人々の不安が浸透してくるため、景気はやや悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が地方に及ぶと景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が続き、景気は悪くなる。
	×	商店街（代表者）	・多少暖かくなるまで新型コロナウイルスの感染状況は変わらないので、景気が良くなることはない。
	×	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・人の移動が多くなると新型コロナウイルスの感染者数が増加し、客が来店を控える。
	×	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあるなか、今後、来客数が減少し、取引先の事情で商品の仕入れも減少することから売上も減少する。
	×	コンビニ（エリア担当）	・今後、寒さが厳しくなり、新型コロナウイルスの感染者数の増加が見込まれるため、景気は悪くなる。
	×	自動車備品販売店（経営者）	・2度目の緊急事態宣言が出ると景気は悪くなる。
	×	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・景気の底がみえず、今後も景気は悪くなる。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・年末年始は、毎年初詣や初売りなどの売上が上がる時期であるが、県外からの来客が見込めない状況で、飲食関係も営業自粛などが重なり、売上が伸びる要素がない。客の外出への抵抗感が日に日に増していることもあり、今後も更に厳しくなってくる。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスに対して客が過敏になってくるため、景気は更に悪くなる。
	×	観光型ホテル（宿泊担当）	・新型コロナウイルスの終息のめどが立たないため、景気は悪くなる。
	×	観光型ホテル（副支配人）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止により、宿泊のキャンセルが発生し空室が増加している。今後、新型コロナウイルスの感染者数が日々増加することから、人の動きはますます鈍くなる。
	×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は悪くなる。
	×	タクシー運転手	・景気の底が見えてこない。新型コロナウイルスの影響で自粛ムードが高まっていることから、今後も景気は悪くなる。
	×	通信会社（広報担当）	・新型コロナウイルス禍で、新しく物を買うなら、新型コロナウイルス対策に充てたいということが多く、通常の消費につながらない。
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、景気後退は否めない。
	×	テーマパーク（業務担当）	・イルミネーションイベントが終わったが、今年は雪が多く降る予報が出ており、また、新型コロナウイルスの感染拡大も懸念される。状況によっては、閉園等の対応等も考えられ、来園者の増加が望めない。
	×	その他レジャー施設〔温泉センター〕（担当者）	・12月に入り新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にある。さらに、変異型も発生し、先が読めない状況下で景気の回復は難しい。年明けに失業者や倒産する企業が増加してもおかしくない状況であり、人が集まる温浴業も客が遠のいていく。
	×	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスが終息する様子がなく、客が警戒心を持って過ごすため、景気は悪くなる。
企業 動向 関連 (中国)	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車業界の様々な分野で忙しくなってくることから、景気は良くなる。
	○	鉄鋼業（総務担当）	・受注の回復基調が続いていることから、景気はやや良くなる。
	○	非鉄金属製造業（業務担当）	・電子・電池材料素材の受注が伸びてくるため、景気はやや良くなる。
	○	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・主要客からの受注内示量が少しずつ盛り返してくる。
	○	輸送業（支店長）	・新型コロナウイルス禍で、以前より個人市場の伸びが良くなっており、特に今後、親から子への荷物が増加する。また、通販の需要も今以上に伸びてくる。
	○	不動産業（総務担当）	・賃貸住宅の需要時期となるため、良くなる。
	□	化学工業（総務担当）	・今後の新型コロナウイルスの動向が不透明なため、景気は変わらない。
	□	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・新型コロナウイルスの動向次第ではあるが、鉄鋼業の生産回復があり、現在の生産水準が維持できる。

	□	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きに変化はなく、今後も景気は変わらない。
	□	建設業（経営者）	・直近では新型コロナウイルスの爆発的感染で一定の業種への影響は甚大である。ただ、建設業においては、受注のスピードが落ちているものの、想定内の受注ができており、工事施工も順調である。
	□	建設業（総務担当）	・短期的には全国の大手企業が一時的な売上確保に向けて、価格競争し、利益率が低下する懸念があるが、長期的には国土強じん化による公共工事、設備投資による民間工事で繁忙になる。
	□	金融業（融資企画担当）	・地元完成車メーカーの世界販売は、当面の間、前年比で1割程度の減少が続くため、系列の地元部品メーカーの受注も現状と大幅には変わらない水準を維持する。
	□	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しないため、受注量や販売量は上向かない。
	□	会計事務所（経営者）	・通常であれば年度末へ向けて業務量は増加するが、新型コロナウイルスの負の影響に相殺されるため、景気は現状維持となる。
	▲	農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数がすぐに減少することはないので、景気はやや悪くなる。
	▲	食料品製造業（経営者）	・先行きが不透明な状況が続くため、景気はやや悪くなる。
	▲	食料品製造業（総務担当）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止によって今後製品の出荷量が減少する。自粛ムードが続くため、業務用商品が厳しくなる。
	▲	繊維工業（監査担当）	・対面販売が基本の業種にもかかわらず、感染対策としてリモート販売システムで販売を行うため、最低必要数の販売にとどまる。ある程度の売上は確保できる見通しだが、例年と比べると売上は減少する。
	▲	木材木製品製造業（経理担当）	・住宅に関しては自宅で過ごすことが多くなるため、リフォームや郊外での広めの住宅の取得が増加する。ただ、全体的には本格的な冬に向けて新型コロナウイルスの拡大が続くため、今後2～3か月は景気は悪くなる。
	▲	輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響が危惧される。
	▲	輸送業（総務・人事担当）	・新型コロナウイルス第3波の影響により欧州向けの受注が減少し、景気はやや悪くなる。
	▲	通信業（営業担当）	・12月の急速な新型コロナウイルス拡大の影響がしばらく続き、情報機器の更改意欲が低下したままであるため、景気はやや悪くなる。
	▲	金融業（貸付担当）	・現状、新型コロナウイルスが拡大傾向にあり、終息の兆しもないことから、企業の業績回復は期待できない。
	×	金属製品製造業（総務担当）	・受注量が生産能力の40%程度と低水準であることに加え、鉄の原材料価格が急上昇し、収益悪化に拍車を掛けている。少ない仕事を同業者間で奪い合っているため、販売価格への転嫁はできず、今後も厳しい状況が続く。
	×	電気機械器具製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスの状況が悪化しており、今後、新型コロナウイルスが今以上に事業活動に影響を及ぼす可能性が高い。
	×	輸送用機械器具製造業（財務担当）	・先行きは非常に不透明で、明るい話題が非常に乏しい。
	×	通信業（営業企画担当）	・テレワークがますます増加し、客との商談機会がなくなり、販売機会を逸してしまうため、今後、景気は悪くなる。
雇用 関連 (中国)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（経営戦略担当）	・新型コロナウイルスの状況次第だが、経済活動が徐々に復調していくことに伴い、求職活動が活発化する。
	□	人材派遣会社（支社長）	・景気が底を打った感があり、今後、公共案件も増加するため、今より悪くならない。
	□	人材派遣会社（支店長）	・本来であれば今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、求職者数が増加してもおかしくないため、年度末に向けて求職者数が増えることを期待している。新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は今と変わらない。
	□	求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、経済に対する先行き不安が高まっており、今後も景気は良くならない。
	□	求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの終息の見通しが立たないため、新規の採用活動を抑制する企業が一定数発生する。

□	求人情報誌製作会社（広告担当）	・新型コロナウイルス禍で多くの企業がこれまでの採用のやり方、採用業務の効率化などを検討している。動画を使った説明会も当たり前になっている。採用のWeb化により、県外に流出している地元出身の社会人や学生の採用が可能となっている。これからは自社にマッチした人材を確保するため、いかに時代の変化に対応できるかが重要な鍵になる。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・日本銀行や財務省の出先機関は景況感が改善されていると判断しているものの、12月から新型コロナウイルスが拡大傾向にあるため、今後については不透明感が漂う。
□	職業安定所（所長）	・新型コロナウイルスの影響で受注が止まっていた自動車関係の金属加工業への受注が再開した一方で、同じ金属加工業でも製造機械や半導体製造機械では回復が遅れるなど、景気はまだ模様となっており、先が見通せない。
□	職業安定所（事業所担当）	・新型コロナウイルスの影響が多業種に拡大しているものの、雇用調整助成金等の申請は減少に転じている。雇用環境は新型コロナウイルスの感染再拡大による先行き不透明感から見極めの状態となっている。雇用保険関係を前年と比べると、11月の適用事業所数は前年比2.4%の増加、11月の被保険者数は前年比0.3%の増加といずれも増加しているが、11月の資格喪失者数は前年比19.9%の減少となっている。11月の新規求職者数を前年と比べると、前年比0.6%と減少しているが、有効求職者数は、10月が前年比13.1%の増加、11月が前年比16.2%の増加と増加傾向にある。
□	民間職業紹介機関（職員）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止が復調したかに見えた観光ビジネスに水を差している。書き入れ時の年末年始には移動の自粛が呼びかけられており、単籠り需要だけでは、経済をカバーしきれない。しばらくは厳しい状況が続く。
□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・新型コロナウイルスの影響で企業活動が停滞するなか、新卒採用枠の拡大は見込めない。
□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・倒産する企業もあれば、売上を伸ばす企業もあり、全体では、景気は変わらない。
▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響で、飲食及び関連業界の業績が悪化しており、数か月先もこの厳しい状況が続く。
▲	職業安定所（雇用関連担当）	・Go To Travelキャンペーンの一時停止が雇用に与える影響の見通しが立たない。
▲	民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・採用が買手市場となっているため、企業の選考基準が上がってきており、職に就けない層が出てくる。
▲	その他雇用の動向を把握できる者	・新型コロナウイルスの影響が建設業を除く全ての産業に広がっている。Go Toキャンペーンの一時停止の影響は経済全体に波及している。
×	—	—